



やまなし

第77号 2011年7月14日 (年3回発行)

精神科だより

ニーズに即したプログラムの提供のために

地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院デイケア担当
作業療法士 渡邊 洋平

当院デイケアは今年の3月から、今まで3つだったユニットを4つに拡大し、利用者のニーズに応えるための様々な工夫を行いました。今回はその一部を紹介いたします。

◎デイケアユニット再編成の背景

当院デイケアは1日平均96名の方々が参加され、利用者の疾病や治療法はもちろん、背景や生活、ニーズや今後の目標も千差万別です。平成3年の開設以降、その時のニーズ、目的に応じたユニット編成を行ってきました。更に平成22年度からは、思春期の利用者に特化したユニットを増設しましたが、次第に現状の枠組みでは対応できない部分が多くなってきました。

そこで、本年3月にデイケアユニットの再編成を行い、より利用者のニーズに即したサービスの提供を目指しました。

マカニ・ステラ・ピューパ・アーリアと名付けた4つのユニットとその特色を下の図1に示します。全てのユニットに共通する重要な役割は、地域生活への移行のための橋渡しです。各ユニットはそれぞれの特色の中で利用者が本来の生活を取り戻す事ができるよう支援を行っています。

もくじ	
1p	精神科だより
4p	1年を振り返って
7p	新入会員情報
8p	学会報告
9p	老健だより
10p	福祉用具相談案内
11p	理事会だより
13p	広告
16p	各種申請書変更のお知らせ 編集後記

マカニ まずはデイケアへの継続参加が目標の方 1年以上3年以内の目処でデイケアを卒業できるような支援 今から目標を探す	ステラ 1年以内にステップアップして、デイケアを卒業 目標の大枠がすでに決まっている
ピューパ 思春期、青年期の方で、復学や就職に向けて1・2年程度の時間が必要な方	アーリア 復職、復学に向けた数ヶ月単位の短期集中リハ 現在一時的な休職、休学中で元の職場や学校に戻る方



図1

◎各ユニットとプログラムの特色

ニーズ、目的別の編成を行った4つのユニットですが、各ユニットの中でもニーズや目的に幅が生じました。心理教育、社会生活技能訓練、認知行動療法、スポーツ、などのプログラムにも段階付けを行う必要があります。その上、4つに増加したユニットに対して、デイケアスタッフの人数が増える事はありませんでした。以前のユニット編成では、各ユニット毎でプログラムを運営していましたが、同じような運営はマンパワーが足りず行えません。

そこで、ユニット単位ではなく、ユニットを超えて目標やニーズ毎にプログラムを共有、選択、参加できる枠組みを作りました。マカニとステラでは、ほぼ全てのプログラムを共有しています。そのため、以下のようなことが可能となりました。

1. プログラムの段階付けの細分化 (図2参照)

マカニ STELLA マカニ・ステラ プログラム	
心理教育群	
リハビリサークル	聞きたいことを募集するなど、柔軟な運用
今週のスポットライト	日常生活との橋渡し、振り返り
生活知恵袋	退院準備プログラム使用した基礎的な内容
生活のコツのススメ	動機付けセッション
ウェルネス群	
ヘルス&ビューティー	健康増進・リラクゼーション
ゆっくりゼーション	ゆったりとしたストレッチ
DAYCARE-CUP	時間がかかるスポーツ種目など
スポーツ	スポーツ
レッツ!スポーツ	身体機能、集団参加に応じて緩やかに
ウォーキング	敷地外ウォーキング
CBT群	
曇り後晴れ-Smile again-	気分障害対象
正体不明の声	統合失調症対象
とらえ方?教室	導入セッション
とらえ方・感じ方	CBTの動機付けセッション
SST群	
コミュニケーションマスター	仕事場面向けた課題
やり取り上手への道	デイケア、ご近所での課題
会話の達人	家庭内での課題
レッツ!コミュニケート	ベラック等、課題はスタッフが提示
これから見聞録	ハローワーク、作業所等の実地見学
みんなで自主企画	自発的な企画、運営を目標

図2

2. スタッフ配置の最適化

同時に、利用者は担当スタッフと共に図2のプログラム表を参照しながら自分のニーズや目標に即したプログラムを選択できるようになりました。ユニットに縛られず利用者の目標やニーズに即したプログラムを利用者とともに選択するコーディネート型の支援が可能となりました。

一方、あえてプログラムを共有せず、各々の特色を出したユニットもあります。思春期・青年期ユニットのピューパと、復職・復学ユニットのアーリアです。

ピューパは、思春期や青年期の世代で学校などの集団生活を送ることができなくなったり、対人関係などの悩みを持った方々を対象に行っているショートケアです。比較的若い年代でユニットを構成する事により、集団への帰属感を高め、より円滑に集団生活への参加ができるようなプログラムを行っています。

アーリアでは、体調管理や疾病管理はもちろん、仕事上での対人交流、アサーション(主張)

トレーニング、認知行動療法、認知リハビリテーション等を取り入れ、復職・復学という明確な目標に向けて準備を整える事を目標にプログラムを行っています(図3)。今までの経験やキャリアを上手にアレンジしていく必要がある中、同じような境遇、経験をされてきた利用者でグループを構成する事のメリットを期待したユニット編成です。

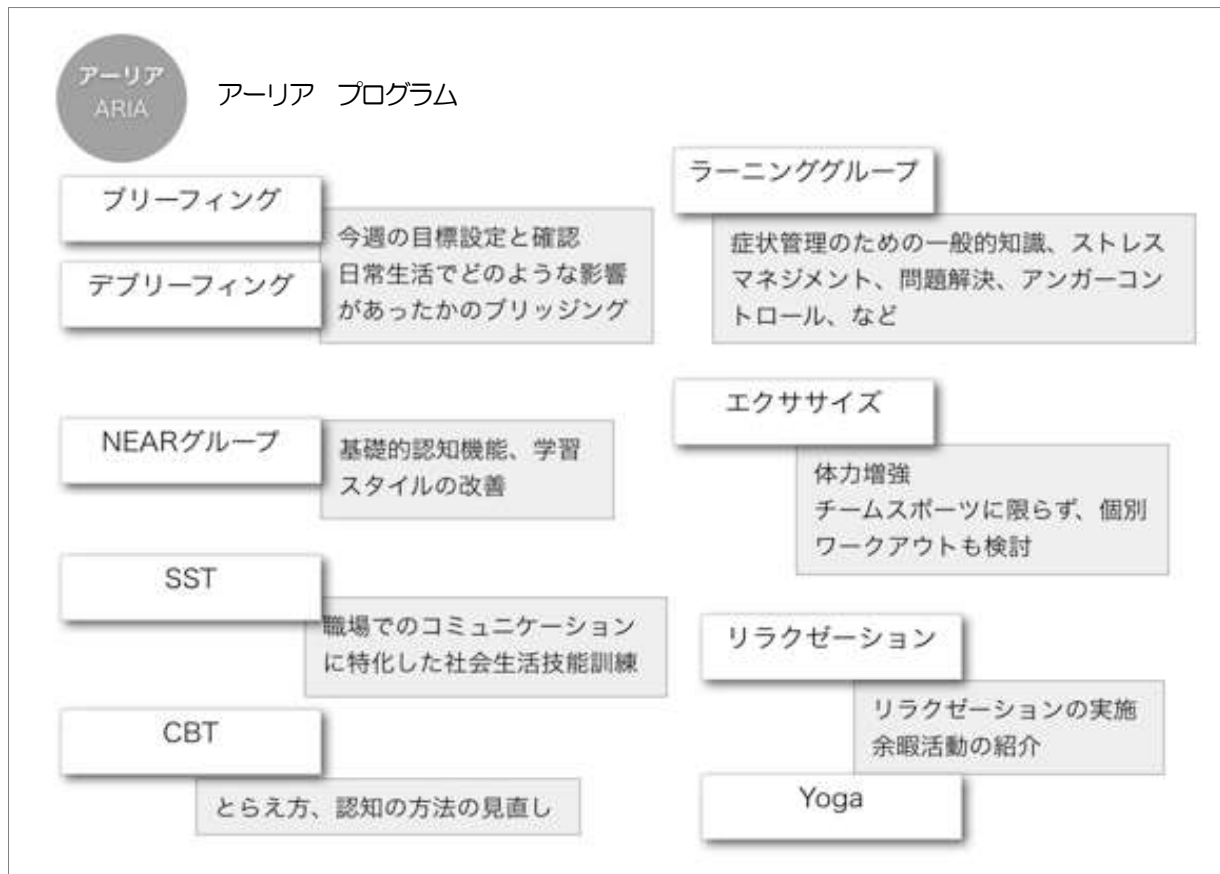


図3

◎今後の展開

より多くの利用者のニーズに応えるため、ユニット編成、プログラム運営の工夫を行ってまいりましたが、これらはあくまでも手段であり、デイケアや、プログラムに参加できる事が最終目標ではありません。私達は、利用者が思い描く生活を実現するため主体的にプログラムを利用できる工夫や関わりを行う必要があります。そのためには、プログラムの運営のみならず、利用者のモチベーションを引き出し、更に高める技術、ケアマネジメント能力などがが必要です。プログラムに利用者を当てはめるのではなく、利用者のニーズに即した適切なケアマネジメントの中で、利用者が必要と思うプログラムをコーディネートするスキルが私達に求められています。

一年を振り返って

恵信甲府病院
戸泉 愛

私が、作業療法士として働きはじめてから、あっという間に一年が経ちました。当初は、業務を覚えること・患者様や他職種、スタッフとの関わり方など新しい環境に慣れず戸惑うことばかりでした。緊張の連続でしたが、毎日「やるしかないっ!!!」と思い様々なことに正面から向き合って取り組んできました。目標をどこに設定するべきか、維持期の長期療養生活を送る方に対してどのように関わるか、プログラムの立案方法、自助具や環境へのアプローチなど戸惑いながらも、試行錯誤しながら日々過ごしてきました。そんな中で「本当にこれでいいのか?」「他にもっといい方法はないのか?」と自問自答することが度々ありました。そんな時、先輩達の優しく、時には涙が出るほど厳しいアドバイスによって助けられてきました。それにプラスして、さらに効果があったのは患者様の笑顔や感謝の言葉でした。この1年間過ごしてきて「できない自分が、悔しい」という思いを数多く感じてきました。2年目になり、まだまだわからないこともあります。知りたいこと・やってみたくいことが増えてきました。今までの悔しさをバネにこれからも日々精進していこうと思います。

一宮温泉病院
大石 俊起

一年間を振り返ってみると、一言でいうと「早く過ぎ去った」気がします。

私自身この一宮温泉病院に入り、自身を振り返る機会があり、多くの反省点や課題を見つけることができました。就職当初、わからないことばかり、とりあえず、無我夢中に勉強会を探し、多くの勉強会に参加させて頂く機会がありました。その中でも自分が特に印象に残っているのは認知神経リハビリテーション(旧認知運動療法)との出会いでした。私の病院では先輩方が取り入れていることもありましたが、初めは全くわからないことだらけで、多くの先輩方に応援、指導して頂き、海外研修まで参加させて頂きました。海外研修では、現在のリハビリテーションと過去のリハビリテーション、学校教育、考えるべき視点、患者さんに対する訓練、治療方法を勉強させて頂きました。リハビリテーションの提供においては、患者さんの生活背景、個人因子、環境因子、能力を正確に把握し、いかに日常生活につなげられるかを考えられるようになったと思います。この一年早く、短い気がしましたが、一宮温泉病院に入り、他では学べない多くのことを学べたと思います。同期、リハ先輩方、看護師、医師、その他の職員に感謝しています。

財団法人 三生会病院
遠藤 愛子

今回、このような機会をいただき、この一年間を振り返ってみました。私にとってこの一年は、新しい環境に慣れることや、日々の業務など覚えることが沢山あり、気がつけばあっという間に過ぎていました。今振り返ると、正直自分のことだけで精一杯であったような気がします。また、社会人としての行動や責任などの学ぶことも多く、自分一人では難しいことも多かったのですが、多くの人達に支えて頂いたことで自分も頑張っていくことができ、改めて周囲の人達との交流や繋がりの大切さを確認することができました。

私はコミュニケーションが苦手なため、対応や関わり方に悩むことも多いです。良かれと思って接したことが、患者様にとって嫌なことであり、その時の状況や気持ちを読み取り接していくことは難しいと実感しました。未熟な自分に対し、患者様から「先生」と呼ばれることに戸惑いを感じることもあります。

もう二年目に入り、正直何も出来ていないのではないかと焦りや不安がありますが、患者様と関わる中で、「ありがとう」と感謝の言葉や笑顔など変化がみられると、嬉しくなりやりがいも感じます。また、落ち込んでいるときに患者様の一言から元気をもらうことも多いです。分からないことだらけだけど、人と関わる中で、一つ一つの小さな出来事から喜び・悩み・苦しみ、そこから自己成長にも繋がる・・・精神科 OT は楽しいです。

二年目からは、自分のことだけでなく、視野を広く持ち、様々な視点から物事を捉えられるようにしていきたいです。また、患者様と共に、色々な活動に挑戦していきたいです。

日下部記念病院
金田勇一

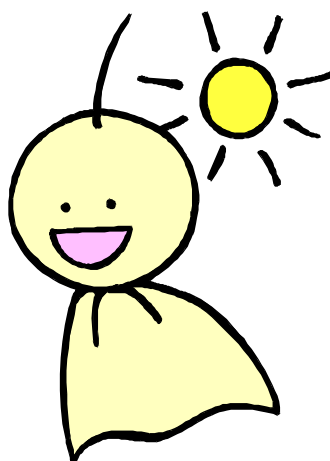
社会人となり作業療法士となり、働きはじめて1年が経過しました。私は現在精神科の病院で働いています。

この1年はあっという間に過ぎていきました。学生時代は、遊んで遊んで勉強して…という様に過ごしていました。しかし社会人となってからは、会社からお金をもらう立場となり、学生時代とは全く違う世界になり責任を感じながら働いています。

この1年間は、様々な状態の患者様、プログラムに関わらせていただきました。入職当初は、全てが初めてであり、毎日が緊張の連続でした。担当患者様との関係や距離感の取り方、OT として技術・経験を身に付けることができるのかなど…失敗や自分との葛藤の連続でした。その中で、今日までくることができたのは上司や仲間、友人や家族のおかげだと思っています。駄目になりそうな私を支えてくださり、応援してくださいました。大学時代の先生に以前お会いした際に、「頑張っているみたいだね。」と声をかけてくださった時には、卒業したから関係が終わりではなく、こうやって見守ってくれているのだなと実感することができました。また、各研修会にも参加し、他の病院・施設、領域の発表を聞くことで自分の視野を広げることにもつながりました。

二年目となる今年は、仕事をこなすというだけではなく、患者様一人ひとりとしっかり向き合いながら気付きを大切にしながら日々を過ごしていきたいです。そのためにも、教科書や資料からも目をそらさず、知識を得ていきたいです。そして、その知識を知恵に変換して、自分の蓄えとして発信できるよう、常に勉強をしていきたいです。そしてOT 内の縦の連携だけでなく、各職種との横の連携も大切にしながら、自分自身の技術の向上に努めていきたいです。これからはがんばります!!

＜第1回 身障OTスキルアップセミナー＞	
テーマ	CVAに対する作業療法介入理論と臨床実践スキル
プログラム	①脳科学作業療法理論～対象操作スキルの学習と作業療法 ②CVAの上肢障害に対する機能的改善を促す臨床テクニック ③運動失調症に対する対象操作能力改善の臨床テクニック ④CVAの生活動作障害に対する動作誘導の臨床テクニック
講師	④澤 先生(藤田保健衛生大学) ②瀧 先生(誠愛リハビリテーション病院)② ①③酒井 浩(京都大学)
開催日	平成23年10月1日(土)～2日(日)予定
会場	中部大学
参加費	5,000円(1日参加3,000円) ※今回は事前にお金を振り込んでいただきます。
申込期間	平成23年4月18日～7月31日 ※申込期間中に振り込みをお願いします。 ※定員になり次第終了いたします。
申込方法	件名:協賛企画(10月) 参加者:協会会員番号 参加者氏名 参加者所属施設 参加日(1日・2日・両日) E-mail:aichiotkenkyukai@gmail.com 送信後、返信された文章に、振込先が記載されますので、そこに近日中に振り込みをしてください。振り込み確認後、本登録となります。http://aichiot.sakura.ne.jpを定期的に確認ください。



WELCOME NEW FACE!!

木下 香織	石和温泉病院	志村 耕平	石和温泉病院
橋 巧也	石和温泉病院	日向 涉	石和共立病院
平山 千奈美	石和共立病院	飯島 幸彦	石和共立病院
相川 なつみ	石和共立病院	両角 正宣	石和共立病院
鰻池 真	石和共立病院	堀内 彩野	介護老人保健施設 はまなす
浅川 良太	春日居川ビ リーゾン病院	佐野 彩	春日居川ビ リーゾン病院
小林 千秋	春日居川ビ リーゾン病院	古屋 まみ	春日居川ビ リーゾン病院
金田 勇一	日下部臨記念病院	小林 真里那	峡南ケア・ホーム いいとみ
草野 明	健康科学大学	千葉 梢	健康科学大学
前田 菜実	健康科学大学川ビ リーゾンクリニック	重原 彩乃	健康科学大学川ビ リーゾンクリニック
三木 幸恵	恵信甲府病院	小林 伸一郎	甲州川ビ リーゾン病院
山下 葵	甲州川ビ リーゾン病院	渡邊 和美	甲州川ビ リーゾン病院
上野 真奈美	甲州川ビ リーゾン病院	矢笠 歩	甲州川ビ リーゾン病院
鈴木 圭介	甲州川ビ リーゾン病院	古市 龍司	甲州川ビ リーゾン病院
加賀爪 宏之	巨摩共立病院	山崎 文也	巨摩共立病院
村松 正伸	巨摩共立病院	木下 実沙子	甲府共立診療所
桔梗 隆司	国立病院機構 甲府病院	中野渡 峰一	塩川病院
上田 寛之	しもへ病院	宮澤 亮	白根徳州会病院
青山 俊喜	市立甲府病院	近藤 考志	住吉病院
渡辺 智史	住吉病院	平出 好恵	ツル虎ノ門整形外科・ リハビリテーション病院
石井 孝弘	帝京科学大学	望月 優加	韮崎東ヶ丘病院
内田 拓弥	山梨県立北病院	宮本 誠也	山梨大学医学部付属病院
齊藤 有紀	山梨川ビ リーゾン病院	小田切 綾	山梨川ビ リーゾン病院
今井 さゆり	山梨川ビ リーゾン病院	鈴木 成美	山梨リハビリテーション病院
山本 洋輝	山梨リハビリテーション病院	丸山 愛	山梨リハビリテーション病院
柳澤 知佐	湯村温泉病院	佐藤 亜紀	湯村温泉病院
堀口 智彦	湯村温泉病院	鈴木 貴浩	湯村温泉病院
生山 唯	湯村温泉病院		

(敬称略・順不同)

*この会員情報は、平成22年7月2日～平成23年6月6日現在の事務局情報を元に作成しています。

第5回山梨県作業療法学会について（お詫びとお願い）

学会運営部長
山梨リハビリテーション病院
佐尾健太郎

このたびの東日本大震災において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様へ心からお悔やみ申し上げます。また、被災されました皆様には謹んでお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

平成23年4月17日に開催を予定していた第5回山梨県作業療法学会は、この未曾有の大災害の影響を受け中止となりました。震災が3月11日、中止の決定が3月24日でした。止むを得ない事態であったとはいえ、開催まで残り1ヶ月を切った段階での中止決定は、多くの関係者にご迷惑をおかけすることとなりました。特別講演、教育・技術講座、一般演題の講師および座長を引き受けていただいた先生方、演題をエントリーしていただいた演者の皆様、機器展示コーナーを担当していただいた福祉用具委員会の皆様、参加申込の手続きを済ませていた会員の皆様、そして、7月から一丸となって準備を進めてきた学会運営部の皆様、ここにお詫び申し上げます。

さて、第5回山梨県作業療法学会は、来年度の同じ時期に改めて開催する予定です。この県土会ニュースが発刊される頃には、学会開催に向けての準備を再始動していることと思います。なお、学会長、副学会長に変更はなく、多くの学会運営部員もそのまま任期を延長します。学会テーマやプログラムなどは未定ですが、できる限り今年度に予定していた内容をそのまま継続したいと考えています。もちろん新たな演題も募集します。ぜひ奮ってご応募ください。どうぞよろしくお願い致します。

東北地方太平洋沖地震
被災地の皆様へ心からお見舞い申し上げます。

平成23年3月11日の東北地方で起きた大地震によって多くの方々が被災されました。何の罪もない方々が命を落とされました。そして、ご自宅を無くし避難所で過ごされている方々、ご家族・知人の行方も分からない状況が続いております。現地のご苦勞は計りしれません。想像を絶していることと存じます。哀悼の意を表し、心からお見舞いを申し上げます。

今後は、(社)日本作業療法士協会と連携を図りながら情報支援・経済的支援・物的支援等を進めてまいります。山梨県作業療法士会に出来ることがありましたら何でも実行する所存でございます。会員の皆様、ご協力のほどを直しくお願いいたします。

平成23年3月14日
山梨県作業療法士会
会長 山本伸一

老健だより

介護老人保健施設 甲府かわせみ苑
藤原 裕子

当苑は、ぶどうの里・甲府市横根町にあり、北に大蔵経寺山が近く、移り行く四季折々の美しさが味わえる自然環境のなかにあります。

平成6年に開苑し、病状安定期にあり入院治療の必要がないが、継続的看護・介護・リハビリテーション（以下「リハビリ」という。）を必要とされる方を対象に、生活自立能力を促し、新たな可能性を高めるためにリハビリを行い、家庭復帰・社会復帰を目指しています。また、季節ごとの諸行事やレクリエーション等、明るく楽しい生活を提供しています。

当苑でのリハビリは、約100名の入所に加え、通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーションの利用者約20名の方に対して行なっています。

72歳から101歳の方まで、ご高齢ということもあり、一種類の病気や整形疾患の既往の方は少なく、身体疾患から精神疾患まで様々な疾患を併せ持った方が多く、幅広い知識や対応が必要となる場面が多々あり、日々模索しながら業務に取り組んでおります。特に入所の場合、一日生活されている環境の中に入りリハビリを行うため、身体機能の評価から、認知面・ADL活動・レクリエーション活動等、入所者様個人と日々の生活全てに関わります。当初は、他職種にPT的なリハビリを求められる事がほとんどでしたが、ADLやレクリエーションにも介入していくと、最近は様々な場面でOTとしての意見を求められる機会が増え、よく他の老健リハビリスタッフからも聞かれるように、何でも屋(!?)のように動いています。その為OTの活躍の場は様々であり、OTとしての仕事の特徴を発揮できる職場と思い、他職種の協力を得ながらリハビリを進めています。

通所リハビリにおいては、利用者様を担当する職種（主治医・ケアマネ・介護士・訪問看護・訪問リハビリ・ヘルパー・福祉用具担当等）が多岐にわたるため、特に連携・情報交換が大切だと感じています。できるだけ住み慣れた環境で安全な生活が送れるよう、利用者様の身体・精神機能だけでなく、家庭生活への助言や、専門職への情報提供をできるだけ密に行うよう心掛けています。

まだまだ力不足ではありますが、何とか周囲のスタッフの協力でリハビリを施行しています。今後も、少しでも多くの入所者様・利用者様に喜ばれるよう努力していきたいと考えています。また、老健におけるOT・PT・STの必要性がありながら十分でない現状を踏まえ、老健や地域で活躍するリハビリスタッフの増加に期待しております。

最後になりましたが、これからも、県土会活動で何かとお世話になると思いますが、よろしくお願いいたします。

福祉用具に関する困りごとの相談を受け付けます



福祉用具は対象者の生活を支援する重要なツールの一つです。介護保険のレンタルにより、たくさんの用具が普及されてきましたが、これは対象者に合っているのかな？と思う場面もみられています。福祉用具委員会では、これらの疑問に対して相談を受け付けます。

- 【相談内容】(例)・体型が大きいが、介護保険で適した車いすがあるだろうか？
- ・この自宅でリフターが使えるのだろうか？
 - ・自立支援法で車いすを作製するときの手続きはどうしたらよい？
- 他、福祉用具全般に対応します。

【相談方法】以下に記入してFAXで申し込んでください。福祉用具委員で検討して回答します。

【受付期間】7月14日～

【回答者】福祉用具委員会 委員

大平純江、佐田剛、村上慶介、萩原恵未、渡辺ひろみ、池田鉄平、保坂和輝、関谷宏美

「福祉用具に関する困りごとの相談」申し込み

平成23年 月 日

送信先	山梨県作業療法学会 福祉用具委員会 関谷宏美 行 甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション室 〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場 2031 FAX : 055-262-3727		
相談者		所属	
連絡方法 <small>〇で囲んでください</small>	TEL・e-mail・FAX	連絡先	<small>電話の場合、都合のよい時間をお書きください。</small>
相談内容			

理事会便り

平成23年2月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成23年2月15日(火)

会場：山梨リハビリテーション病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、中村、三瀬、佐藤、長坂、
山田、宇野、青木、松田、工藤、関谷、磯野；
14名

1.副会長(広田・古屋)

1)茨城県で開催された全国研修会へ、山本会長と出席。

2.社会局(山田・宇野)

<厚生部>

1)平成23年度1月19日(水)に、プライダグヴィレッジミラベルにて新年会を開催。参加者は132名。

3.学術局(松田・青木・工藤)

<企画研修部>

1)平成23年1月14日(金)に、認知症を伴う患者へのOT支援～ADL指導に有効的なActivity活用のヒント～をテーマに研修会を開催。講師は比留間ちづ子氏。参加者は142名。

4.常設委員会(関谷)

<倫理委員会>

1)平成23年1月12日(水)に、セクシャルハラスメントについての研修会開催。参加者は55名。

平成23年度3月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成23年3月23日(水)

会場：甲府城南病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、中村、三瀬、佐藤、長坂、
山田、宇野、青木、松田、工藤、磯野、関；
14名

1.会長(山本)

1)東北地方太平洋沖大震災の影響が大きく、多職種
の協会も災害への援助を募っている。山梨県作業
療法士会としても、日本作業療法士協会と連携し
ながら最大限の協力を行っていく。

2.社会局(山田・宇野)

<渉外部>

1)山梨県作業療法士会の、新人転入者歓迎会は中止。

3.学術局(松田・青木・工藤)

<企画研修部>

1)平成23年4月21日(木)に開催される予定であ
った「口腔内における喀痰等の吸引」の研修会を
中止。

<学会運営部>

1)平成22年4月17日(日)に予定されていた、
第5回山梨県作業療法学会は中止。冊子の発送
は行わないことに決定。

4.臨時委員会(磯野)

<災害対策準備委員会>

1)平成23年5月に予定していた災害対策研修会
は中止し、秋以降へと延期する。

平成23年度4月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成23年4月13日(水)

会場：山梨リハビリテーション病院 作業療法室

出席者：山本、広田、古屋、中村、三瀬、佐藤、長坂、
宇野、青木、松田、工藤、関谷、磯野；13名

1.事務局(三瀬)

1)東北地方太平洋沖大震災による義援金口座を開設
することとなった。

2.広報局(佐藤)

<企画編集部>

1)平成23年3月に広報誌を発送。

平成23年度5月期 山梨県作業療法士会理事会

日時：平成23年5月19日(木)

会場：山梨リハビリテーション病院 作業療法室

出席者：広田、古屋、中村、三瀬、佐藤、長坂、宇野、
青木、松田、工藤、関谷、磯野；12名

1.事務局(三瀬)

1)東日本太平洋沖地震に対する義援金は、平成23
年5月19日(木)時点で455,800円となり、日
本作業療法士協会へ寄付する。義援金口座は、平
成23年5月25日(水)を締切とする。

2.社会局(宇野)

<厚生部>

1)新人転入者歓迎会を平成23年6月8日(水)に湯
村常盤ホテルにて開催。受付は18時30分、開
始は19時を予定している。

3.学術局(松田・青木・工藤)

<企画研修部>

- 1)延期となっていた「口腔内における喀痰等の吸引」の研修会が、平成23年9月10日(土)に決定。定員は100名を予定。

<生涯教育部>

- 1)新人対象の説明会を、平成23年6月8日(水)に湯村常盤ホテルにて18時から行う。

<デンマークに学ぶ子育て文化&高齢者福祉視察>	
主 催	財団法人社会教育協会 ひの社会教育センター
内 容	当施設では、デンマークに学ぶ『子育て文化の視察』を企画しており、総合保育園の訪問と合わせて、森のようちえんに出かける子どもたちにも同行させていただきます。デンマークは成熟度の福祉政策を実施しており、世界で一番幸福な国であるとも言われています。日本人から見るデンマークの幼児教育現場の視察はこれからの日本の子育てに大いに参考になりそうに思います。
開催日	平成23年8月14日(日)～8月22日(月)
参加費	現地活動費 328,000円※航空運賃は含みません。
その他	詳細は以下をご参照ください。 デンマークに学ぶ子育て文化の視察 URL: http://www.hino-shakyo.com/kokusai_kouryu/denmark_kosodate/d_kosodate.html デンマークに学ぶ高齢者福祉視察 URL: http://www.hino-shakyo.com/kokusai_kouryu/denmark_koureisha/d_senior_schedule.html

<プレミアムOTセミナー Part1>	
主 催	作業療法ネットワーク、臨床OT勉強会(COG)
テーマ	視覚・身体認知のメカニズムとその障害
プログラム	身体認知と表像操作のメカニズムと障害 乾 敏郎(京都大学) 視覚認知と表像操作のメカニズムと障害 鈴木 匡子(山形大学) 事例を通じた症状理解
開催日	平成23年7月30日(土)10:30～16:30
会 場	御堂会館(大阪)
参加費	5,000円
定 員	200名
対 象	PT・OT・STなど
その他	セミナー詳細情報と参加申込方法は下記をご参照ください URL: http://www.geocities.jp/otsakai/index.html

SAKAimed

急性期からの ＊
ハンドセラピーを
お手伝いします。

* スプリント *

● 酒井医療株式会社
西東京営業所
Tel: 042-330-7621
www.sakaimed.co.jp

義肢装具をはじめ、車椅子、介護用品（入浴・排泄用品等）まで幅広くみなさんをサポートします。

義肢装具 車いす 入浴用品

取扱商品

- 車椅子
- ベッド関係
- 排泄用品
- おむつ
- 自助具
- 入浴補助用具
- 歩行支援用具
- 日常生活機器
- 衣類
- 靴
- 杖
- 食事用品

福祉用具のレンタルも行っていきます

販売店 エイドセンター-山梨

川村義肢株式会社 山梨営業所 〒406-0024 山梨県笛吹市石和町川中島188
TEL 055 (262) 9630 FAX 055 (262) 0787

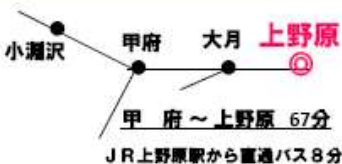
山梨県指定介護保険事業者
(福祉用具貸与・販売・住宅改修)

医療科学部 作業療法学科

新しいコラボレーションに挑戦!!!



【上野原キャンパス】
山梨県上野原市八ツ沢2525



いのちをまなぶキャンパス
帝京科学大学
0120-248-089
入試専用ダイヤル

新時代の医療・福祉・心理の専門家を目指して



2011年度
オープンキャンパス日程

- 2011年
7/23 (土)
8/ 9 (土) 8/27 (土)
9/11 (日)
10/15 (土)
2012年
3/24 (土)



健康科学大学

<http://www.kenkoudai.ac.jp>

所在地: 〒401-0380 山梨県南都留郡富士河口湖町小立7187 お問い合わせ 入試広報課 tel.0555-83-5240



- 理学療法学科
Department of Physical Therapy
- 作業療法学科
Department of Occupational Therapy
- 福祉心理学科
Department of Welfare and Psychology

居宅介護支援、通所介護、訪問介護
福祉用具貸与・販売、住宅改修

やさしさ・おもいやり・・・

GC (有) **グットケア**
GoodCare, LTD

住吉本部 甲府市住吉4-6-24 TEL:055-236-6006
＜事業所:朝気、東光寺、千塚＞

屋形調剤薬局(提携先)
甲府市中央2-8-17 ☎055-223-3738



介護用品/福祉用具販売 住宅改修 車椅子オーダーメイド
介護保険レンタル 居宅支援事業

安心をお届けしたい・・・

株 サノカイゴ
EST.1992 Sankago

中央店 中央市中橋91-1 電話:055-274-1152
シルバー店 甲府市富士見1丁目3-32 電話:055-251-2528



山梨県作業療法士会 各種申請書について

- 入会申請書
- 退会届
- 登録変更届
- 休会・復会届

上記の各申請書を山梨県作業療法士会ホームページからダウンロードして頂き、下記まで、郵送又はFAXにてご連絡ください。もしくは直接、下記連絡先までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

連絡・郵送先

山梨県作業療法士会 事務局 管理部

〒400-0831 山梨県甲府市上町 753-1

甲府城南病院 リハビリテーション部内

FAX : 055-241-8660 (代) TEL : 055-241-5811 (代)



編集後記

玄関の屋根の軒下につばめか巣を作りました。幸せが来るといいなあ～(米)

そろそろ夏休みが近付いてきて、どこに行こうか思案中です。でも最近夏なのにやっぱり温泉にでも浸かりながらのんびりしたいと思っています・・・

(し)

携帯電話を変えました。スマートフォンと携帯電話との便利さの違いに驚いています。(つ)

解っちゃいるけど、食べ過ぎてしまいます。何か良い方法が無いものでしょうか・・・。(s)

夏休みに生まれて初めてディズニーシーに行ってきます。(今)

家のナスの漬物が美味しい!旬の物を食べて夏バテ予防。オススメです。(内)

ここ数年、改めて自分は冬よりも夏の方が好きなんだなあ、と感じています。たとえ暑さで夕方にはハロハロになっていようと・・・。(い)

発行人：山本 伸一

編集人：佐藤 真一・飯野 知一・角田 幸一・内藤 和也・藤原 浩宣・米山 敦・河野 香・今泉 隼

発行所：山梨県作業療法士会 広報局 企画編集部

しらゆり訪問看護ステーション 〒400-0114 山梨県甲斐市万才 287 TEL 055-276-1155

FAX 055-279-1262

印刷所：エンドレス (株) 〒405-0014 山梨県山梨市上石森 123 TEL 0553-22-4574